第38回市民文芸まつりの優秀作品が決まりました。

俳句と短歌合わせて延べ５９７７人から９２０９編の応募がありました。発表大会で入賞者の表彰を行います。なお、上位入賞者は次のみなさんです。

（敬称略）

◎俳句・一般の部

安城市長賞　浜田（はまだ）唯明（ただあき）
障子貼るこの空間の広さかな

安城市議会議長賞　神谷（かみや）鋭子（えつこ）
滴りの落ちて光りをつき放す

安城市教育委員会賞　山本（やまもと）公爾（こうじ）
変る村変らぬくらし大根抜く

安城市教育委員会賞　水野（みずの）みゆき
若衆の舞う遠江凧祭

安城文化協会賞　沓名（くつな）美津江（みつえ）
木守柿忘れ上手な老いふたり

安城文化協会賞　佐藤（さとう）公彦（きみひこ）
雨蛙今日はここまで鍬置いて

安城市観光協会賞　水野（みずの）建三（けんぞう）
食卓の真ん中に置く初鰹

安城市観光協会賞　盛里（もりさと）優羽（ゆう）
ドの音が若葉に響く校舎裏

サルビア賞　深津（ふかつ）優月（ゆづき）
水族館夏空泳ぐ飛べぬ鳥

◎ 俳句・小中学生の部

安城市長賞　藤井（ふじい）　旬（しゅん）（安城西中学校）
逃げ水を追いかけてゆく青き日々

安城市議会議長賞　柿本（かきもと）　結愛（ゆあ）（東山中学校）
礼をして黒帯近し夏稽古

安城市教育委員会賞　森本（もりもと）　紗和（さわ）（安城西中学校）
今日だけは鉛筆置いて浴衣着る

安城市教育委員会賞　榊原（さかきばら）　紬（つむぎ）（明祥中学校）
ねこの影カーテンごしで蝶見てる

安城文化協会賞　杉浦（すぎうら）　統也（とうや）（安城北中学校）
進まない課題のように泳ぐのも

安城文化協会賞　中村（なかむら）　譲人（ゆずと）（安城西中学校）
猫あくびこちらのなやみ知らぬ顔

安城市観光協会賞　鰐部（わにべ）　堅介（けんすけ）（安城北部小学校）
ぼくの思考まくらにしずむ夏の夜

安城市観光協会賞　山本（やまもと）　知昇（とものり）（安城南中学校）
ひまわりや影の重さに立ち尽くす

◎ 短歌・一般の部

安城市長賞　平野（ひらの）　真由（まゆ）
眠る手はグーとパーとの中間でみんなひきわけ月かげしずか

安城市議会議長賞　徳永（とくなが）　京子（きょうこ）
ちぎり絵の展覧会の作品に初夏のもやもやちぎられてゆく

安城市教育委員会賞　岩﨑（いわさき）　愛子（あいこ）
娘のくれし米サラサラと研ぐ朝鍋底光る白き一合

安城文化協会賞　猪尻（いじり）　栄子（えいこ）

吾の病知らずに逝った母は吾をただ甘やかす夢の中にて

安城市観光協会賞　本多（ほんだ）　三枝子（みえこ）

買えずとも我に似合うと言いし夫越後上布の還暦の旅

◎短歌・小中学生の部

安城市長賞　遠山（とおやま）　凛花（りんか）（篠目中学校）

既読つかぬ画面を閉じて空を見る雲は返信を急かしたりせず

安城市議会議長賞　加藤（かとう）　煌芽（こうが）（東山中学校）

風吹けばノートの端がゆれてゆく書いた言葉も少し笑った

安城市教育委員会賞　尾崎（おざき）　由菜（ゆな）（安祥中学校）

夏休み「大きくなったね」その言葉毎年いってるおばあちゃん

安城文化協会賞　山下（やました）　紬希（つむぎ）（安城南中学校）

月あかり眠らぬ街の窓ひとつだれかが想う夜が息づく

安城市観光協会賞　川合（かわい）　紗都（さと）（篠目中学校）

夕焼けの水たまり飛ぶ帰り道影だけ先に大人になって

第38回市民文芸まつり発表大会を開催します。

と　き▼1月22日（日）午後1時30分

ところ▼へきしんギャラクシープラザ　大会議室（3階）

発表大会　入賞作品の発表・表彰・講評

来場者には、入選作品集を差し上げます。

※問い合わせ　安城文化協会（℡74－6066）